



12月に入りました。今年は本当に激動の1年でした。新型コロナウイルスの感染が世界中に広がり、私たちの生活を一変してしまいました。マスクを常にかけての生活が1年も続き、まだ先行きも不透明なまま、新たな年を迎えようとしています。

『現代用語の基礎知識 2021』自由国民社(編)と『これからの日本の論点 2021』日本経済新聞社(編)の2冊を紹介します。『現代用語の基礎知識 2021』の前半は、2020年の1年間に話題となったニュースを取り上げて、詳しく説明しています。後半は、2020年に起こったこと用語について解説しています。読みやすく、わかりやすい本というか雑誌なので、2020年をふり返るのにぴったりの1冊です。『これからの日本の論点 2021』は、日本経済新聞社が発行しているので、主に経済について書かれています。この本は2020年を踏まえて、2021年はどうなっていくかという、予測を書いている本です。是非、手にとってみてください。

～** 図書館からのお知らせ **～



1、冬休み前の長期間貸出が始まっています。

返却日 2021年1月7日(木)

貸出冊数 5冊まで

2、じゃんぼかるたで百人一首大会

参加者には参加賞があります。

日時 2021年1月8日(金) 15:45から

場所 笠田高校図書館

B4サイズの厚紙に下の句が書かれています。詠み手が上の句から詠みますので、下の句が書かれた取り札を取って下さい。取り札をたくさん獲得した人が優勝です。





	書名	著者名	出版社	分類番号
1	図書館の新型コロナウイルス対策ガイド	吉井潤	青弓社	013
2	ギネス世界記録2021	グレイグ・グレンディ(編)	KADOKAWA	031.5
3	本と体	高山なおみ	KTC中央出版	019.9
4	「読む」って、どんなこと?	高橋源一郎	NHK出版	019.12
5	中国の手仕事紀行	奥村忍	青幻舎	292.2
6	基地の消長 1968—1973	川名晋史	勁草書房	395.4
7	沖縄「戦争マリア」	大矢英代	あけび書房	369.37
8	広島原爆—記憶と問い	真鍋禎男	あけび書房	369.37
9	ヒロシマ	ラン・ツヴァイゲンバーグ	名古屋大学出版	369.37
10	地元を生きる 沖縄的共同性の社会学	岸政彦	ナニヤ出版	361.7
11	さよなら、俺たち	清田隆之	スタノ・ブックス	367.1
12	まんがでわかる日米地位協定	平良隆久	小学館	395.3
13	顔の百科事典	日本顔学会(編)	丸善出版	469.43
14	新型コロナウイルスと私たちの社会	森達也	論創社	498.6
15	小さな地球の大きな世界	J.ロックストーム 他	丸善出版	519
16	派遣添乗員へへへ日記	梅村達	三五館シンシャ	689.6
17	リアル15	井上雄彦	集英社	726.1
18	焚き火の本	猪野正哉	山と溪谷社	786
19	紀元 2600 年の満州リーグ	坂本邦夫	岩波書店	783.7
20	村上春樹が英語で楽しく読める本	村上春樹を英語で読む会(編著)	コスモスピア	837.5
21	「戦時昭和」の作家たち芥川賞と十五年戦争	永吉雅夫	青弓社	910.263
22	恋人たちはせーので光る	最果夕七	リトルモア	911.56
23	百年と一日	柴崎友香	筑摩書房	913.6
24	鏡影劇場	逢坂剛	新潮社	913.6
25	司書のお仕事①②	大橋崇行	勉誠出版社	913.6
26	白野真澄はしょうがない	奥田亜希子	東京創元社	913.6
27	彼女が天使でなくなる日	寺路はるな	角川春樹事務所	913.6
28	始まりの木	夏川草介	小学館	913.6
29	ぼくもだよ 神楽坂の奇跡の木曜日	平岡陽甲	角川春樹事務所	913.6
30	純喫茶パオン	柳月美智子	角川春樹事務所	913.6
31	本と歩く～わたしの旅ブックス～	森まゆみ	産業編集センター	915.6
32	オーバーストーリー	リチャード・パワーズ	新潮社	933.7
33	おとなのなかのこども	ヘンリー・ブラックショー	化学同人	933.7
34	震える叫び	R.L.スタイン	理論社	933.78

新刊書から・・・

『焚き火の本』 猪野正哉(著) 山と溪谷社

書名通り、「焚き火」の極意が記されています。「火」の扱い方や道具の選び方、薪の割り方や組み方など、消火や片付け方も詳しく書かれています。特に、「飯ごうでのご飯を炊き方」には、かつてキャンプで飯ごうを用いてご飯を炊いたことを懐かしく思い出しました。



